



せたがや区議会だより

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27 TEL(5432)2779 FAX(5432)3030

No.299

令和7年(2025年)4月26日
発行 世田谷区議会

<https://www.city.setagaya.lg.jp/gikai/index.html>



物価高騰対策関連補正予算を可決 第1回臨時会 令和7年度予算を可決 第1回定例会



予算特別委員会での採決の様子

第1回臨時会

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。第1回臨時会には、区長から2件の案件が提出され、全て可決しました。

●6年度補正予算

1件

○一般会計(第六次)
(全員賛成)

国の交付金を活用した物価高騰対策を実施するため、歳入歳出予算それぞれに三億四四九万四千円を追加する。六次補正後の予算額は三八二億七九五万七千円となる。

●専決処分の承認

1件

○一般会計補正予算(第五次)
(全員賛成)

住民税非課税世帯等への価格高騰重点支援給付金を支給するため、歳入歳出予算それぞれに三五億四九四万四千円を追加した。五次補正後の予算額は三八一億二七九万三千円となる。

第1回定例会

議決内容

議決した案件の概要をご紹介します。第1回定例会には、区長から7年度予算案5件を含む95件、議員から2件の案件が提出されました。また、7年度予算案を審査するために予算特別委員会を設置しました。提出された議案は全て可決しました。

※本紙に掲載する条例名は略称を使用しています。

●7年度各会計予算

5件

○一般会計

賛成多数 賛成 議員 立憲 行革 国民 集 虹
野上 草

○国民健康保険事業会計
(全員賛成)

○後期高齢者医療会計

賛成多数 賛成 議員 立憲 行革 国民 集 虹
野上 草

○介護保険事業会計(全員賛成)

○学校給食費会計(全員賛成)

○関連記事は6ページに掲載
●6年度各会計補正予算 4件

○一般会計(第七次)(全員賛成)

○国民健康保険事業会計(第二次)

賛成多数 賛成 議員 立憲 行革 国民 集 虹
野上 草

○後期高齢者医療会計(第二次)

賛成多数 賛成 議員 立憲 行革 国民 集 虹
野上 草

○介護保険事業会計(第二次)
(全員賛成)

○補正後の予算額は次のとおり。

一般会計 四〇二億六八七万五千円

国保会計 八五六億四六二万二千円

後期高齢者会計 二六六億二六四万八千円

介護会計 七六四億七六八万六千円

●条例の新設

4件

○犯罪被害者等支援条例
(全員賛成)

犯罪被害者などへの支援策を推

進するための基本理念や区の責務などを定める。

○犯罪被害者等支援等基金条例
(全員賛成)

○犯罪被害者への支援などに取り

組むための基金を設置する。

○子どもの権利委員会条例
(全員賛成)

第三者機関による調査及び評価検証などを行う委員会を設置する。

○子ども・若者・子育て会議条例
(全員賛成)

○子ども・子育て会議と子ども・

青少年協議会を統合する。

●条例の改正 75件

○個人情報保護条例(全員賛成)

○職員分限条例(全員賛成)

○職員退職手当条例(全員賛成)

○特別区税条例(全員賛成)

○プール経営許可条例(全員賛成)

○以上5件は、刑法の改正に伴い、

必要な規定を整備することなど。

○職員の勤務時間、休日、休暇条

例(全員賛成)

○幼稚園教育職員の勤務時間、休

日、休暇条例(全員賛成)

○職員育児休業条例(全員賛成)

○以上3件は、子育て部分休暇の

新設などに伴い、必要な規定を

整備する。

○手数料条例(全員賛成)

○建築基準法などの改正に伴い、

必要な規定を整備する。

○米国軍隊構成員等に対する軽自

動車税の賦課徴収特例条例

(全員賛成)

○軽自動車税の種別割の納期を変

更する。

○障害者福祉施設条例(全員賛成)

○障害者福祉施設が行う障害福祉

サービスに係る規定を整備する。

○指定障害児通所支援事業等の人

員基準等条例(全員賛成)

○指定障害児入所施設の人員基準

等条例(全員賛成)

○児童福祉施設の設備・運営基準

条例(全員賛成)

○以上3件は、職員の配置基準に

管理栄養士を追加することなど。

○地域包括支援センターの包括的

支援事業の実施基準条例

(全員賛成)

○地域包括支援センターの職員の

配置基準を改定する。

○区営住宅管理条例(全員賛成)

○単身入居の対象者を拡大するこ

となど。

○地区計画区域内の建築物制限条

例(全員賛成)

○高齢者、障害者等が利用しやすい

建築物条例(全員賛成)

○以上2件は、高齢者、障害者等

の移動等の円滑化の促進に関す

る法律施行令などの改正に伴い、

必要な規定を整備する。

○公園条例

賛成多数 賛成 議員 立憲 行革 国民 集 虹
野上 草

○使用料及び占用料を改定するこ

とに加え、次のとおり公園を新

設するとともに、身近な広場を

区立公園に位置づける。

〈新設公園〉

名称	所在地
豪徳寺一丁目 たまにゃん公園	豪徳寺一丁目
給田六所神社通 り公園	上祖師台7-13
	16

〈位置づけの変更〉

新名称(現名称)

池尻北公園

(池尻北広場)

桜丘農業公園

(桜丘農業広場)

所在地

池尻4-27-16

桜丘4-19-10

○身近な広場条例(全員賛成)

○使用料及び占用料を改定するこ

となど。

○公共物管理条例(全員賛成)

○区管理水路の占用料を改定する。

○道路占用料条例(全員賛成)

○道路占用料を改定する。

○児童養護施設退所者等奨学・自

立支援基金条例(全員賛成)

○基金を活用した支援事業の助成

対象者を拡大する。

○職員旅費条例(全員賛成)

など。

○区長等の給料条例(全員賛成)

○区議の報酬・費用弁償条例

(全員賛成)

○教育委員会委員の報酬・費用弁

償条例(全員賛成)

○選挙管理委員の報酬・費用弁償

条例(全員賛成)

○監査委員の給与条例(全員賛成)

○農業委員会委員の報酬・費用弁

償条例(全員賛成)

○教育長の給与・勤務時間条例

(全員賛成)

○非常勤職員の報酬・費用弁償条

例(全員賛成)

○選挙長等の報酬・費用弁償条例

(全員賛成)

○附属機関の構成員の報酬・費用

弁償条例(全員賛成)

○区議会の調査・公聴会出席者の

費用弁償条例(全員賛成)

○選挙管理委員会の出頭関係人の

費用弁償条例(全員賛成)

○監査委員の出頭関係人の費用弁

償条例(全員賛成)

○農業委員会の出頭関係人の費用

弁償条例(全員賛成)

○建築審査会条例(全員賛成)

○以上15件は、国家公務員等の旅

費に関する法律などの改正に伴

い、必要な規定を整備する。

〈8ページへ続く〉

会派名等

自 民 自由民主党世田谷区議団

公 明 公明党世田谷区議団

立 憲 立憲党いわね選挙区議団

F 行 革 無所属・世田谷行革110番

共 産 日本共産党世田谷区議団

国 都 民 国民民主党・都民ファーストの会

生 ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団

虹 レインボー世田谷

世田谷 世田谷無所属

国 際 国際都市せたがや

風 せたがやの風

参政党 参政党

維 新 新日本維新の会

無所属 無所属

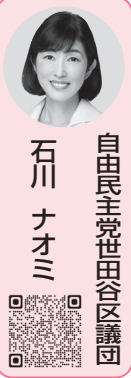
公職選挙法の規定により、議員

の寄附行為や時候のあいさつ状

などは禁止されています。

代 表 質 問

2月19日及び20日の本会議で、5名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



自由民主党世田谷区議団
石川 ナオミ

将来を見通した行財政運営

質問 7年度予算は400億円に迫る規模まで肥大化しており、将来の財政需要に備え事業を精査したとは到底思えない。不断の行財政改革と計画的な財政運営を徹底せよ。
政策経営部長 経費節減の意識を高め持続可能な財政運営に努める。
マンシヨン防災の推進

質問 区は我が会派が求めてきたマンシヨンでの防災対策の強化を7年度から進める方針だ。共助の意識の向上や在宅避難の推進に向けて具体的にどう取り組むのか。
危機管理部長 共助につながる資器材の供与や啓発事業を進める。
学校の空調設備の適切な更新

質問 区は普通教室などの老朽化した空調設備を更新する計画を進めている。猛暑から子どもの命を守るため、当該計画終了後の10年度以降も継続的に設備を更新せよ。
警察・消防・衛生部長 更新計画終了後の新たな計画を早急に取りまとめる。

都市整備分野でのデジタル化推進

質問 区が実施予定の土木や建築に係る手続や資料のデジタル化は他区に比べ内容に乏しく、開始時期も2025年度以降と遅い。利用者目線で内容を充実し迅速に実行せよ。
副区長 改善の余地があり、可能なところから随時実施を検討する。

建設業の人材確保策の強化

質問 区民生活を支える建設業は就業者数が大幅に減っており高齢化が著しい。人材確保に向け、区内の高校や大学などと連携して若者世代へのアピールを強化せよ。
副区長 都立高の授業で魅力を伝えるなど若年者へアプローチする。

せたがやペイの機能拡充

質問 商店街のスタンプ事業は使用機器の更新などに多額の経費負担を要する中、工夫を凝らして実施されている。負担軽減に向け、せたがやペイに同機能を実装せよ。

経済産業部長

課題を整理した上で区として必要な支援に取り組む。

エコ農産物の活用拡大

質問 化学肥料などの使用を抑えたエコ農産物は環境負荷の低減に有効な一方、安定供給の面に課題がある。エコ農産物の活用拡大に向け、生産者への支援を充実せよ。

経済産業部長

土壌改良剤を補助対象に加えるなど充実に努める。

高齢者の健康増進施策の充実

質問 健康寿命の延伸や認知症の予防には高齢者の身体活動と社会参加の促進が重要だ。楽しみながら取り組むことができるダンスなどを健康増進施策に取り入れよ。
副区長 参加しやすい講座の企画や地域での居場所の創出を進める。

スポーツを通じた障害理解の促進

質問 聴覚障害者の国際スポーツ大会であるデフリンピックが11月に東京で開催される。障害理解の促進を図る絶好の機会と捉え、区民への啓発に着手に取り組み。
スポーツ推進部長 啓発事業の周知やデフスポーツの体験などを進める。

火葬場不足への早急な対応

質問 23区では死亡者数が増加しており、今後深刻な火葬場不足に陥ると想定される。この状況を重く受け止め、整備に向けた議論が進むよう区長会などで提言せよ。
地域行政部長 他区とも連携して対応の検討や研究を進める。

清掃・リサイクル事業の在り方

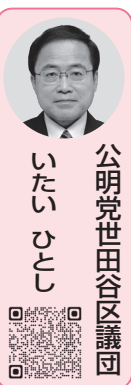
質問 区は9年度に不燃ごみを全量資源化し、12年度中にはプラスチックの分別収集も行う予定だ。実施体制や財源などの課題も含め、事業に今後どう取り組むのか。
副区長 民間事業者との連携を強め、事業の確実な実施に取り組む。

子どもの権利条例の実効性の確保

質問 子どもの権利条例の実効性を確保するには、大人の理解が不可欠だ。様々な機会を捉えて継続的に啓発に取り組み、子どもの権利が守られる世田谷を実現せよ。
副区長 子どもが権利を実感できる地域社会の構築に向け尽力する。

公明党世田谷区議団

いたいひとし



避難所での温かい食事の提供

質問 避難所生活を送る上で心身の健康を保つには温かい食事が重要だ。ガスが止まっても提供できるように、学校の給食調理室にプロパンガスが使える設備を導入せよ。
警察・消防・衛生部長 学校の特設調理機器に活用できるかなど検討する。
火葬場建設の推進

地域活性化に向けた観光施策

質問 区内での死者数が20年にピークを迎えるに当たり、火葬場の建設は急務だ。建設する際の住宅との距離規定を緩和するとともに近隣区と連携して新設を目指せ。
地域行政部長 他自治体へのヒアリングなどを重ね整備を検討する。

住宅の防犯対策の強化

質問 我が会派の提案を受け、区が住宅の防犯対策費用助成を始めることを評価する。防犯物品を期日までに購入した区民が確実に補助を受けられるよう取り組み。
危機管理部長 区民が申請の機会を逸することがないよう工夫する。

区営住宅での訪問詐欺対策

質問 区営住宅で商品を次々と売りつけられる訪問詐欺があったと聞く。防犯対策の強化に、カメラ付インターホンを標準仕様とせよ。
都市整備政策部長 都営住宅などの状況も参考に設置の検討を進める。

障害者の余暇活動の充実

質問 18歳以上の障害者が社会参加できる機会を充実すべきだ。区独自の補助制度を立ち上げ、NPOや企業と連携しながらアートや音楽などを楽しめる場を創出せよ。
副区長 障害者の豊かな社会参加の実現に向けて調査検討を進める。

中高生への学習スペースの提供

質問 中高生が学校以外で集中して学習できる環境を整えるべきだ。安全面に配慮し、管理者が常駐する区施設の空きスペースに電源やWiFiを設置して開放せよ。
子ども・若者部長 支所とも連携し課

題の把握や運営の工夫を検討する。

保育待機児解消に向けた対策

質問 区内で保育待機児が度々発生する現状から保育需要の見込みが甘いと言わざるを得ない。各地域の保育ニーズを的確に見定めた上で計画的に保育施設を整備せよ。
副区長 先を見通した保育待機児対策に全力で取り組んでいく。

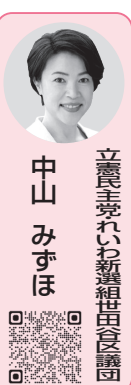
地域活性化に向けた観光施策

質問 茶沢通りが海外雑誌に掲載され注目を浴びている。これを機に多くの外国人観光客に訪れてもらえるよう地域活性化戦略として日本文化の体験機会を創出せよ。
区長 地域と融合した体験型メニューの充実も重要と考えている。

区民生活を支える建設業への支援

質問 区は建設業の人材確保や定着支援として、従業員が資格を取得する際の費用を助成している。補助事業の拡充に当たっては、現場のニーズを踏まえた内容とせよ。
副区長 需要に即した制度となるよう対象資格や補助率を拡大する。

本文中では左記の省略表記(※)を使用しています。
※支所 〃総合支所



立憲素いお新組世田谷議団
中山 みずほ

公共調達に対する区長の認識

質問 大規模自治体である当区が有機米を調達し給食に使用することとは有機農業の普及を促し、持続可能な社会の実現に資する。公共調達の意義を区長はどう考えるか。
区長 経済振興やエシカル消費に資する側面があると認識している。

子どもの権利委員会の実効性確保

質問 区は子どもの権利委員会を設置予定だ。子どもと日常的に関わる学校での権利保障の実現に向け教育委員会の役割を明確にせよ。
子ども・若者部長 若者委員などの意見を聞き効果的な連携を検討する。

就学相談の体制の見直し

質問 就学相談は発達特性のある子どもの支援が目的だが、就学先を判定される場と捉え避ける保護者は少なくない。適切な支援につなげるため、相談体制を見直せ。
教育総務センター長 安心して相談できるように広報の充実などに取り組む。

介護事業者への継続的な経営支援

質問 区は経営改善を図る介護事業者を募集し、伴走して支援に取り組む予定だ。毎年新たな事業者を募集するなど、持続的かつ網羅的に支援する仕組みを構築せよ。
高齢福祉部長 成功事例を共有するなど主体的に事業に取り組む。

住民参加によるまちづくりの推進

質問 千歳烏山駅周辺まちづくりは多様な住民の参加の下で進めるべきだ。参加しづらい方の意見も取り入れられるよう工夫を凝らせ。
副区長 子育て世代などの声も聞けるよう周知や運営を工夫する。

オンラインでの参加と協働の推進

質問 区政運営への参加と協働を一層推進すべきだ。時間や場所に制約されず、意見交換や議論が可能な住民参加型デジタルプラットフォームの活用を検討せよ。
区長 住民参加型の合意形成の具



無所属・世田谷行革10番
大庭 正明

本庁舎の整備方針への疑義

質問 旧区民会館の外観を残したまま庁舎整備を進めた結果、工期の延伸や議会棟の利便性の悪化を招いた。外観の保存を決めた区長の判断は正しかったと言えるのか。
区長 学識経験者による設計者選定委員会の審査を尊重し決定した。

本庁舎整備の着工が遅れた要因

質問 庁舎整備が遅れた要因は前熊本区政で着工準備が整っていたにもかかわらず、保坂区長が就任後に構想を潰したことにある。区長はそのことを自覚しているのか。
区長 様々な議論を経て進めており構想を潰したとは考えていない。

庁舎整備遅延に対する区長の見解

質問 さきの質問で区長は構想を潰していないと答弁したが、現に就任後1年半の間、庁舎計画担当部を廃止している。それでも構想を潰していないと言っているのか。
区長 指摘内容と事実を突き合わせて正確に検証していただきたい。

恵泉通り全線開通の早期実現

質問 恵泉通り未開通区間にある家屋残り一軒は立ち退き料を受け取ったにもかかわらず、明渡し期限から8年が経った今もなお占有し続けている。事態の解決を急げ。
区長 粘り強く交渉を進めながら、解決に向けて決意を持って臨む。

火葬場建設に係る区への対応状況

質問 我が会派はさきの議会で火葬場の建設を求め、区は火葬専用の施設にすれば費用を抑えられるなどと答弁した。進捗を示せ。
地域行政部長 23区の問題と捉えた特別区長会事務局と情報共有した。

火葬場建設に向けた予算の確保

質問 火葬場建設への取組を着実に進めるべきだ。7年度予算案に火葬場関連予算が含まれていないが補正予算を組む予定はあるのか。
地域行政部長 研究に必要な経費が生じる際は庁内で検討する。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様を
ホームページで録画配信しています。
世田谷区議会 議会中継で検索！



日本共産党世田谷区議団
中里 光夫

区民の暮らしを守る予算を

質問 失われた30年での税と社会保障料の負担増に加え、物価高騰が区民生活を苦しめている。区民生活の実態に心を寄せ、区民の暮らしを守る区政運営に力を尽くせ。

区長 区民生活を守るために必要な予算を重点的に計上している。低所得者へのエアコン買換え補助

質問 壊れたエアコンの買換えが困難な低所得者にとって夏の暑さは命に関わる。買換えによるCO₂削減効果も踏まえ、環境と福祉の施策推進の視点で支援策を検討せよ。

環境政策部長 福祉部門と連携し都の買換え補助制度を周知する。**介護人材確保に向け更なる支援を**

質問 介護人材の確保に向けて昨年末に実施した事業者への支援給付事業は賃金アップに一定の成果があった。依然厳しい状況を踏まえ恒久的な処遇改善策を講じよ。

高齢福祉部長 国や都に実情を伝え、実効性のある支援を検討する。**区施設の使用料値上げの撤回を**

質問 区民生活が厳しい中で使用料値上げはやめよ。区施設は区民の自主的活動を支える共有財産だ。受益者負担の考えを改めよ。

政策経営部長 改定額は小さく区民参加と協働の趣旨は阻害しない。**介護困難ケースへの対応強化を**

質問 介護困難ケースに対応する職員は欠員でノウハウの継承、公的責任を果たせるか。介護職経験者の活用と育成を進め、重層的支援や福祉緊急対応を強化せよ。

保健福祉政策部長 特別支援チームによる現場職員への支援を強化する。

核兵器のない平和な世界の実現を

質問 核戦争の危機が高まっている。日本こそ核兵器廃絶の先頭に立つべきだ。区長は政府に核禁条約締結国会議への参加を求めよ。**区長** 平和首長会議での締約国会議参加の要請文の採択に賛同した。

一般質問

2月20日及び21日の本会議では、31名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。



関口 江利子
(生 ネ)

排除されない投票所のあり方

質問 投票所での知的障がい者等への合理的配慮を徹底せよ。運営を担う職員への実践研修の実施と障がい特性に応じた適切な事務マニアルへと見直しを行うべし。

答弁 当事者の声を踏まえ、誰もが投票しやすい環境の整備を図る。**障がい者の歯科診療環境の充実**

質問 梅丘にある口腔衛生センタ―は区内で唯一、一般の歯科診療所に対応が困難な障がい者を診療している。予約が殺到する状況に鑑み、診療できる場の拡充を図れ。

答弁 玉川にある歯科保健センタ―での実施の可能性を検討する。**介護事業者への経営改善支援**

質問 区は介護事業者の経営改善に向けたコンサル事業を7年度から開始予定だ。合理化優先とせず、本来の在宅サービスの質が損なわれないような支援を強く求める。



坂口 賢一
(自 民)

職員不足を見据えた区の対策

質問 少子化などの影響で特別区職員採用試験の受験者が減少しており、人材確保への取組が急務だ。区の職員として働きたい若者が増えるよう、区の魅力を発信せよ。

答弁 区で働く魅力などをPRするための特設サイトを開設予定だ。

区職員が働きやすい環境づくり

質問 区は職員が仕事と育児を両立しやすくなるよう、小学生を育てる職員を対象とした部分休暇を導入予定だ。当該制度を安心して

利用できる環境づくりに注力せよ。**答弁** 様々な機会を通じて、職員に効果的な周知を図っていく。

教員のメンタルヘルスケア

質問 児童生徒への指導に関する悩みなどから休職する若手教員は多い。教員が悩みを抱え込まない環境づくりに向け、区はメンタルヘルスケアをどう進めていくのか。



岡本 のぶ子
(公 明)

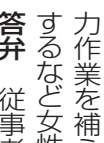
答弁 研修の実施や相談体制の整備など学校内外の対策を充実する。

障害者の緊急時における支援体制

質問 区は24時間体制の緊急時バツクアップセンターの夜間運用をコールセンター対応に切り替える。これまでのコーディネート機能が損なわれない仕組みを構築せよ。

答弁 夜間の支援の連携方法について今後関係機関と調整していく。**介護事業者への経営改善支援**

質問 介護事業者の倒産や休業業が相次ぐ現状を踏まえ、介護事業者の経営改善に向けた支援を7年度から開始することを評価する。当該支援の今後の道筋を示せ。



ひえしま 進
(F 行 革)

電動キックボードの交通安全対策

質問 電動キックボードは取扱いが簡単で移動手段として有用だが、利用者の増加に伴って事故も増えている。区民に安全利用を促すため、区内の事故件数を公表せよ。

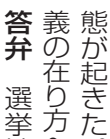
答弁 交通違反抑止に向けホームページへの掲載を警察と協議する。

里親家庭への支援体制の充実

質問 区は保護された乳幼児を積極的に里親へ委託する方針を示した。子どもの命を預かる重大な事業であることを肝に銘じ、里親家庭を十分にフォローアップせよ。

答弁 里親等委託推進専門員の配置など、手厚い支援の構築を図る。**民主主義の在り方への区長の考え**

質問 一般の兵庫県知事選ではSNSでのフェイク情報や二馬力選挙など、選挙の公平性を脅かす事態が起きた。SNS選挙と民主主義の在り方への区長の見解を示せ。



おの みさき
(生 ネ)

答弁 選挙は民主主義の根幹であり公正な選挙の確保が重要である。

意思決定の場への女性の参画促進

質問 明石市等ではジェンダーギャップ解消に向けて、民間団体と連携し、女性リーダー育成のためのセミナーを実施している。女性の活躍推進を掲げる区も実施せよ。

答弁 先行自治体を参考に外部講師を招いて実施するなど検討する。**シティズンシップ教育の推進**

質問 社会の構成員が権利や義務を行使し社会参画する力を養うシティズンシップ教育は、指導事例不足等から現場の取組が進まない。教育委員会が主体となり推進せよ。

答弁 好事例の共有や教員への意見聴取などの取組を進めていく。**自治体主体の平和外交の推進**

質問 平和の実現に向けた外交は国に任せるだけでなく、自治体が主体的に取り組むことも重要だ。区も接点が多いアジア近隣諸国との交流を通じ平和外交を推進せよ。

答弁 平和という視点も含め、交流の可能性について検討していく。

ごみ問題に関する区民意識の啓発

質問 23区内で排出されたごみを最終処分する東京湾の埋立地は、残り50年で満杯になると予想されており、排出量の削減は大きな課題だ。削減の実効性を高めるには、ごみ問題に対する区民の意識向上が極めて重要だが、区はこれまでどのような啓発を行ってきたのか。

答弁 各種広報に加え、大学と連携した情報発信や子ども向けイベントの開催などに取り組んでいる。**ごみ減量に向けた取組の強化**

質問 ごみ問題に対する区民の意識はいまだ不十分であり、排出量を削減するには、区民により関心を持つて取り組んでもらう必要がある。例えば、家庭で生ごみを処理する機器の購入費を助成することなどが有効と考えるが、今後どのような取組を進めていくのか。

答弁 地域通貨ポイントを活用しごみ減量への動機付けを行うなど、区民の主体的な行動変容を促す。

母乳を捨てさせる無配慮を改めよ

質問 区は子ども子育て応援都市を標榜する一方で、職員には不衛生なトイレで搾乳しその母乳を捨てさせる対処を強いてきた。冷凍冷蔵庫を備えた搾乳室を整備せよ。

答弁 先進事例の取組なども参考に、関係所管で検討を進める。**安心して搾乳できる公共空間整備**

質問 神奈川県は、授乳室でも搾乳ができると一目で分かるシンボルマークを作成し、県内の公共施設や商業施設への掲示を進めている。区も同様の取組を展開せよ。

答弁 必要とされる方が気兼ねなく利用できるよう早急に取り組む。

民間事業者への搾乳室の設置促進

質問 女性の活躍推進と区内事業者への人材定着を図る一助として、搾乳室設置の必要性、有用性を区内事業者に伝える努力を区に求める。各部で連携し取り組むべきだ。

答弁 様々な機会を捉えて、区内事業者への周知啓発に努めていく。

闇バイトに追加してしまっ要因

質問 闇バイトに応募した若者による強盗事件が相次いでいる。二ユースでこれだけ報道されているにもかかわらず、なぜ若者は闇バイトに手を染めてしまっのか。

答弁 若者の情報源であるインターネットの悪用が要因と考える。**闇バイトへの加担防止策**

質問 闇バイトの犯人たちは若者の間で短時間で効率的に高収入を得ようとする風潮が広がっていることに付け込み実行役を利用して。若者の加担防止策を講じよ。

答弁 様々な広報媒体での注意喚起や警察などとの連携を強化する。**闇バイトから子どもを守る取組**

質問 小中学生が闇バイトに巻き込まれないためには、情報の真偽を見極めて判断する能力を養うことが肝要だ。教育委員会として今後どのような対策を講じるのか。

答弁 児童生徒が自らの危機管理意識を高められる取組を進める。

金品亡失事件に対する区長の認識

質問 区役所内での生活保護費亡失事件に係る監査では、発生報告の遅れや現場任せの姿勢など、不適切な区への対応が指摘された。区長は自身の責任をどう感じたのか。

答弁 すさんだ管理を指摘した監査結果を重く受け止めおわびする。**全ての金品亡失事件の監査の実施**

質問 今回の生活保護費の一件以外にも、区役所内ではいくつもの金品亡失事件が発生している。それらについてはなぜ同様に監査を求めないのか区の見解を示せ。

答弁 案件ごとに行行政処分や賠償請求、監査請求を判断している。

区史編さんの著作者人格権問題

質問 区史編さんを巡る著作者人格権問題について区は関係者と話がついたことを公表した。今後の執筆においては当該権利の不行使を条件にしないとの認識でよいのか。



ひうち 優子
(世田谷)



モペットの交通ルールの周知徹底

質問 ペダル付原動機付自転車「モペット」による事故や交通違反が多発している。安全に利用されるよう、交通ルールを自転車などの利用に係る計画に明記し啓発せよ。
回答 記載を検討するとともに警察署と連携して啓発に取り組む。

飼い犬に関する手続の簡素化

質問 渋谷区では様々な行政手続がLINEから申請でき、特に犬に関する手続が重宝されていると聞く。多くの犬が飼われている当区でも同様の仕組みを導入せよ。
回答 他区の動向を踏まえ、区民の利便性向上を重視し対応する。

図書館への学習スペースの整備

質問 子どもが集中して勉強できるように、図書館に学習スペースを整備すべきだ。座席への電源の設置や利用する際のネット予約の導入など、充実した環境を確保せよ。
回答 電源の増設や座席のネット予約の導入など充実に取り組める。



畠山 晋一
(自民)



23区内への火葬場の増設

質問 高齢者の死者数が200年代にピークを迎えるに当たり、火葬場が不足することは明らかだ。火葬場の更なる整備に向けて、まずは特別区長会へ積極的に働きかけよ。
回答 23区全体の課題と捉え特別区長会事務局とも情報を共有した。

地域公共交通の充実

質問 狛江市はバスの運転手不足を受け、自動運転の実証運行を実施した。区内でもバス路線の廃止が相次ぐ現状を踏まえ、狛江市と連携して自動運転の取組を進めよ。
回答 実証運行に区職員も試乗しており、実証結果も共有予定だ。
質問 グラウンドの暑さ対策の強化
回答 屋外スポーツ施設の暑さ対策を強化すべきだ。グラウンドのスプリングラーの性能を向上させ

るとともに、水道蛇口からでも散水できるよう水圧不足を解消せよ。
回答 今夏に向けて水圧の確認を行うなど適正な管理運営に努める。



みや かおり
(立憲)



修学旅行での探究的な学びの推進

質問 区立校の修学旅行は安易に前例踏襲せず、探究的な学びの場となるよう見直すべきだ。子どもの意見を尊重し、主体性を育む機会が得られる行き先を選定せよ。
回答 探究的な活動となるよう、行き先の選定について指導する。

目の健康を守る取組の強化

質問 加齢により目の機能が低下した状態「アイフレイル」を放置すると重度の視覚障害につながるおそれがある。区民の健康を守るため眼科への定期的な受診を促せ。
回答 医師会とも協力し目の健康に係る正しい知識を普及啓発する。

性被害を受けた子どもへの支援

質問 幼少期に受けた性暴力のトラウマで大人になっても苦しんでいる方は少なくない。区は性被害によりPTSDなどの精神疾患を抱えた子どもをどう支援するのか。
回答 子どもの成長や状況に応じ、継続的にきめ細かく支援する。



そけい せiya
(国都民)



オンラインサービスIDの統合

質問 区のオンラインサービスは続々と増え、図書館カードや児童館の入退館も電子化される。必要なIDは、利便性の点からサービスごとではなく統合IDとせよ。
回答 統合IDの導入や活用の可能性について今後研究していく。

保育園入園格差の是正

質問 認可保育園の無償化を背景に入園できれば無料、できなければ自己負担という極端な格差が生じている。入園できなかった家庭への手当支給など支援策を講じよ。
回答 保育需要を踏まえ認可外施設の利用料補助の拡充を検討する。

現役世代の時間的負担の軽減

質問 親が自分の時間を犠牲にして子育てする現状を変えなければ少子化は止まらない。夜間や数日間子育てから離れるための支援など親の時間的負担軽減に取り組み。
回答 一定の要件の下で夜間や数日間の子ども預かりを行っている。



坂本 みこ
(共産)



主権者教育の推進

質問 子どもの権利を保障する条例を施行する今、人権の尊重と、社会問題について声を上げ、社会を変えるゆたかな主権者教育を推進すべきだ。区の見解を示せ。
回答 主権者としての意識の育成につながる教育の充実に取り組む。

生活保護のケースワーカーの増員

質問 生活保護受給者を支えるケースワーカーから、受け持つ世帯が多いため丁寧に寄り添った対応をする時間がないとの声を聞く。支援の質を高めるため増員せよ。
回答 適切な配置に留意し生活保護制度の円滑な遂行に努めていく。

大阪万博修学旅行の見直し

質問 5校が修学旅行先に選定した大阪・関西万博は会場でメタンガスが爆発するおそれがあり、また個人情報取扱いも不安だ。子どもの安全を第一に見直しを図れ。
回答 情報収集に努め、実施予定校との情報交換を積極的に行う。



神尾 りさ
(国際)



社会起業家の育成

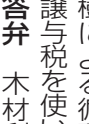
質問 起業支援では地域課題の解決への事業に挑む社会起業家や社会貢献と企業利益の両立を図るゼブラ企業を育成すべきだ。新たな産業活性化拠点で支援を強化せよ。
回答 新たな挑戦を横断的に支援し、社会起業家の輩出につなげる。

保護者の学びや交流機会の充実

質問 子育ての知識を学べる講座「すくすくコンパス」は多くの保護者に参加してもらえるよう工夫すべきだ。オンライン配信の実施や飲食を伴った交流機会を創出せよ。
回答 子育ての楽しさを分かち合える仕組みづくりなどに取り組む。

森林の循環に向けた木材の活用

質問 国土の約7割を占める森林を育成し健全な状態を保つには、積極的な国産木材利用と新たな植樹による循環が必要だ。森林環境譲与税を使い木材利用を促進せよ。
回答 木材利用や環境教育の推進に向けて地方部との連携を強める。



つみかげ じゅん
(風)



施設使用料値上げの正当性を問う

質問 区は維持管理費の増加を理由に、区民利用施設の使用料を値上げする条例改正を今議会で提案した。物価高の今、区民に更なる負担を強いる正当性があるか問う。
回答 長期的な視点で維持管理に必要な財源の確保が必要である。

窓口混雑期の待ち時間の短縮

質問 区は窓口混雑期の平均待ち時間の目標を昨年より3分短縮し30分とした。区長の掲げる待たない窓口という目標に実務が追いついていない。改めて目標を伺う。
回答 待ち時間30分を目標に更なる工夫を模索し混雑緩和に努める。

高齢者置き去りの予算編成

質問 7年度予算案では子どもや若者に関する新規事業が多い一方、高齢者関連の事業が極端に少ない。高齢者置き去り予算になっていないか。新規事業数の内訳を示せ。
回答 子どもや若者、教育については19件、高齢者では3件である。



佐藤 ひろと
(公明)



稼ぐ視点での公共施設運営

質問 公共施設の運営に当たっては利用料の値上げを繰り返すのではなく、施設を生かして税外収入を確保すべきだ。稼ぐ公共の視点で収益目標を設定し達成を目指せ。
回答 稼ぐ公共の視点を踏まえた効果的な取組を検討していく。

要介護認定審査の迅速化

質問 要介護認定は介護保険法の規定で原則、申請から30日以内に認定することとされているが、区では30日を超えることが常態化している。認定審査の迅速化を図れ。
回答 認定審査へのタブレット端末導入などについて準備を整える。

多摩川での舟運の実現

質問 交通不便地域対策として河川で舟を運航することは鉄道の整備と比べコストや労力を削減でき、通勤手段や観光資源としても有効だ。多摩川での舟運を検討せよ。
回答 国や都をはじめ多摩川流域の各自治体の取組を研究していく。



加藤 たいき
(自民)



就職氷河期世代への支援

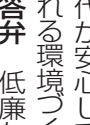
質問 バブル崩壊から約10年の間に就職活動をした世代は、非正規労働者が多く、賃金が他世代に比べ伸び悩んでいる。当該世代が安定した生活を送れるよう支援せよ。
回答 一人でも多くの方が希望する職種に就業できるよう支援する。

校庭への人工芝の導入

質問 区は2月の常任委員会で八幡小と松沢中の改築整備方針を示した。校庭の整備に当たっては、水はけがよく雨天時でも使用できる全天候型的人工芝を導入せよ。
回答 関係者の意見などを踏まえながら、舗装の在り方を検討する。

少子化対策の推進

質問 私は少子化対策を推進すべきと幾度も求めてきたが一向に進んでいない。子どもを望む若者世代が安心して世田谷で産み育てられる環境づくりに真剣に取り組め。
回答 低廉な家賃で良質な公共住宅を供給することを追求していく。



中塚 さちよ
(立憲)



フェイクニュースへの対策

質問 昨今の選挙で見られるフェイクニュースへの対策を講じるべきだ。情報の真偽を見極める力

ディアリテラシーについて、区ホームページでの啓発を強化せよ。

回答 選挙の公正さを保つためホームページなどで注意喚起を行う。

性犯罪被害者への支援の充実

質問 区は性犯罪被害者へ緊急避妊薬などの費用助成を検討しており、その要件として区への事前相談を必須としている。事態の緊急性に鑑み、事後申請も可能とせよ。
回答 被害状況などが確認できれば助成できるよう制度設計を行う。

デマンド型交通の今後の展開

質問 砧地区でのデマンド型交通は赤字解消や運転手確保が難しくモデル事業としての展開は厳しい。資金面や人材面の課題解決に向け、専門家を交えて事業を再構築せよ。
回答 専門家や事業者の協力を得て持続可能なシステムを構築する。



佐藤 美樹
(国都民)



私立幼稚園への相談体制の強化

質問 経営が厳しい私立幼稚園から状況を打開したいが何から手を付けるべきかわからないとの声を聞く。区は個別相談に応じる体制を整備し具体的な支援につなげよ。
回答 施策の周知に努めるなど、一歩を踏み出せるよう支援する。

病児・病後児保育の利用料の改善

質問 子どもが病気の際に安心して預けられる環境を整備すべきだ。認可保育所の保育料の無償化が進む現状を踏まえ、病児・病後児保育についても利用料を見直せ。
回答 都の動向などを踏まえ他の施策とのバランスを今後検討する。

在宅避難の推進に向けた体制整備

質問 在宅避難の推進に合わせ避難所運営の在り方を見直すべきだ。初動ボックスの活用などにより、避難所運営委員に頼らずとも誰でも運営が可能な体制を整備せよ。
回答 初動ボックスを活用した避難所運営訓練などを推進していく。



会派等の意見

7年度予算を審査するため、49名の議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月6日から3月21日の間、延べ7日間にわたり質疑を行いました。

ここでは、予算特別委員会での質疑や要望、今定例会最終日に表明された7年度予算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

自由民主党世田谷区議団…河野俊弘
公明党世田谷区議団…佐藤ひろと
立憲民主党世田谷区議団…原田竜馬
無所属 世田谷区議員10番…大庭正明
日本共産党世田谷区議団…坂本みえこ
国民民主党都民ファーストの会…そのべせいや
生活ネットフク世田谷区議団…関口江利子
レインボー世田谷…上川あや
世田谷無所属…ひうち優子
国際都市せたがや…神尾りさ
せたがやの風…つるみけんご
参政党…岡川大記
日本維新の会…若林りさ
無所属…青空こうじ

区長は区民の声に耳を傾け 区民が主役の区政運営を進めよ

自由民主党世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）



7年度予算は一般会計で3996億円、特別会計も含めると5883億円にも上り、これだけの大規模な予算を有効に活用できるか区の手腕が問われている。しかし、リーダーである区長の区政運営のスタンスには大きな不安を覚える。区長は就任当初から区民の「参加と協働」を掲げているが、旧保健センターの跡地活用では子どもや若者に関する施設の整備などを求める地域住民の声に耳を傾けず、警視庁への土地の貸付けを優先する方針を示した。区民の声を恣意的に取捨選択し、自身に都合のよいものだけを取り上げることが断じて許されない。区長は区政の主役が区民であることを肝に銘じ、区民の声を丁寧に関き、議会の指摘を真摯に受け止めて区政運営を進めよ。

以下、我が会派が提言してきた個別の分野について意見を述べる。まず持続可能な行財政運営についてである。景気の下振れリスクや物価高など区財政を取り巻く状況が不透明な中、喫緊の課題であ

る子ども施策の充実や今後増加が見込まれる公共施設の更新などの財政需要に的確に対応するため、類似事業の整理や費用対効果の観点から事業を厳格に精査せよ。また、税外収入の確保に意欲的に取り組み、強固で持続可能な財政基盤の構築を常に意識せよ。特に、税源の流出が著しいふるさと納税については、単なる返礼品の追加にとどまらない実効性のある対策を進めるとともに、包括協定を結ぶ川崎市などと連携し制度の抜本的な改正を国に強く働きかけよ。

持続可能な行財政運営を推進するには、都区財政調整制度の見直しも肝要だ。現在の制度では本区に必要な財源が十分に確保されているとは言い難く、都に制度の見直しを早急に働きかけるべきだが、区長の姿勢は極めて消極的だ。区長は都との交渉を前進させるべく、具体的なロードマップと財源の配分増に向けた交渉方針を示せ。

適正な職員配置も持続可能な区政運営を実現する上で重要だ。区は職員定数の増やDXによる業務効率化を進めているが、区の業務量は今後も増加が見込まれる。人的資源の面からも事業を十分に精査し、限られた財源と人員を最大限に生かして予算額以上の成果を生み出せるようマネジメントせよ。教育現場では教育の質を高める働き方改革推進プランを着実に進めるとともに、区内の大学や企業などの教育資源との連携や区独自の正規教員の任用、都からの教員人事権の移譲に向けた取組を強化せよ。また、学校の暑熱対策は人手や資材の不足に陥る可能性もあらかじめ想定した上で、夏までに確実に施工が完了するよう進めよ。次に災害対策についてである。在宅避難の推進に向け、せたがや防災キフト事業を約25%の世帯が利用しなかった要因を分析し、次なる啓発の一手を速やかに講じよ。また、マンション防災については補助金や防災用品の提供にとどま

らず、自主防災組織の結成まで支援せよ。防災組織が町会や自治会などの共助のネットワークを構築し、地域全体の防災力向上につながることを期待する。更に災害時の医薬品の備蓄方法については、使用期限切れを防げるランニングストック方式に早急に改めよ。

次に都市基盤施設の適正管理についてである。道路や橋梁などの都市基盤施設は区民生活を支える基本的なインフラであり、区民が安全に利用できるよう適切な更新が欠かせない。しかし、特別区道の舗装更新は平成30年度（令和4年度）までの5年間で計画目標の3分の2にとどまり、4年度に至っては目標値の約半分と聞く。道路陥没などの重大な事態を未然に防ぐためにも、計画どおり確実に維持更新を進めることを強く求める。

このほかにも高齢者施策の充実や子育て環境の整備、DXの推進などに関する我が会派の提案を真摯に受け止め、速やかに実行せよ。

増大する行政需要を的確に捉え 区民生活を守る区政運営を行え

公明党世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）



7年度予算は5883億円に上る過去最大規模で編成された。今後、いつ発生してもおかしくない大規模災害への備えをはじめ年々増大する行政需要に応えるため、税金を投入する指標や有効性を明確にし、効果検証を徹底せよ。また、区民への説明責任を果たせるよう、参加と協働を隠れみのにしたような事業への聖域なき点検を断行せよ。

以下、我が党が最重要課題と考える6点について意見を述べる。

第1に防犯対策である。SNSを通じて闇バイトが多発しており区民の不安は高まっている。防犯対策に係る補助事業の申請状況を注視し予算が不足する際は補正予算で対応せよ。24時間安全安心パ

トロールを増強し見回り強化せよ。

第2に災害対策である。巨額を投じた防災カタクログフトの効果検証を行うとともにアンケート結果を更なる在宅避難支援策に生かせ。また、在宅避難者情報を把握するシステムを構築せよ。水循環機器やコンテナ型宿泊施設、トイレトレーラー等を配備せよ。避難行動要支援者の実態把握に努めよ。

第3に物価高対策である。年間を通して区民生活を支えられるよう、せたがやペイのポイント還元率を平準化せよ。また、ポイントを公共施設の使用料の支払いに利用できるよう機能を拡充せよ。

第4に若者支援である。子どもや若者の意見を区政に反映するユースカウシル事業を推進する体制を整えよ。また、若者の可能性を育てるため、青少年交流センターを全地域に整備せよ。給付型奨学金の支給対象の拡大に取り組み。

第5に国際交流と観光政策である。児童生徒が異文化に触れられる機会を拡充するため、新たな姉妹都市提携を英断せよ。また、区内の貴重な観光資源を戦略的に発信する国際観光交流協会を創設し外国人も雇用するなど、インパクトのある観光政策を打ち出せ。

第6に終活支援である。高齢者の介護施設への入所や死後事務などを支援する事業者の増加に比例し、契約不履行などのトラブルも増えている。区民が安心して終活を進められるよう終活相談支援センターを創設し、支援せよ。また、終活支援事業者の適正な運営を確保する取組にも注力せよ。

参加と協働のアップグレードで 先行き不透明な時代に立ち向かえ

立憲民主党いわ新選組世田谷区議団―

（全ての会計に賛成する意見）



区は7年度予算を参加と協働による地域全体での学びを進める「学習する都市推進予算」として編成

した。予測困難で変化が激しい時代だからこそ区と区民が知恵を出し合い世田谷の未来を共につくることが重要であり、本予算を基に参加と協働のアップグレードによる区政運営を求め意見を述べる。

参加と協働の推進の観点から、子ども若者の参画や意見表明の機会の拡充に向けたユースカウシル事業は、多様な子どもが参加できる仕組みとせよ。外国籍区民が避難訓練などの地域コミュニティの活動に参加しやすい環境づくりに注力せよ。災害時の共助の取組を進めるため、マンション防災共助促進事業の活用を促せ。市民活動支援事業は協働する市民団体の持つ性格を理解した上で進めよ。

そのほか注力すべき政策として、労働の分野では、公契約条例で定める労働報酬下限額を遵守する取組に尽力せよ。区職員の離職防止に向け現場の声を踏まえ、ワークライフバランスを進めよ。教職員の負担軽減策を早急に展開し働き方改革を推進せよ。就労を望むミドルシニア世代が地域で活躍できるよう、都との連携や求人開拓を強化せよ。介護人材不足の解消に向け、区と事業者が役割を明確にした上で対策を進めよ。

子どもの分野では、外遊びの推進に向けた環境整備により、子ども遊ぶ権利を保障せよ。非認知能力の向上にも寄与するインクルーシブ教育を推進するためガイドラインの浸透を図れ。図書館やメタバース空間を活用するなど不登校児童生徒への支援を強化せよ。

また、良好な住宅に住むことを権利と捉え住まい確保策については対象拡充を図れ。高齢者などの孤立防止に向け地域コミュニティの活動と福祉サービスの連携を強化せよ。医療的ケア児者への支援を充実せよ。清掃職員の増員を図り、プラスチックごみの分別回収に取り組み。脱炭素の推進に向け、区民の主眼的な行動を促す仕組みを構築せよ。農家に対して酷暑対

策をはじめ重層的な支援を講じよ。

緩慢でずさんな区政運営を是正し 区民の利益を守る施策を推進せよ

無所属・世田谷区議員10番―

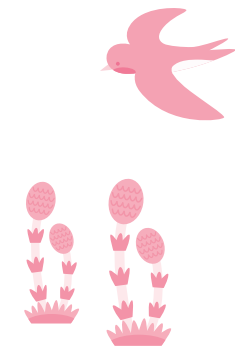
（一般会計には反対、その他の会計には賛成する意見）



7年度予算について、議会に十分な説明を行わずに成立を図る保坂区長の姿勢は言語道断であり、到底容認することはできない。

以下、「緩慢さ」と「ずさんさ」が蔓延する区政に苦言を呈する。まず、実施計画における成果指標の目標値である。区はこれまで修正後の目標値を2月の常任委員会

で報告してきたが、今回は再調査をした上で9月に示すとした。これは各種施策の効果が不透明なまま7年度の事業を開始することにはかならず、区民の大切な税金の無駄遣いにつながりかねない。区政の停滞を招かぬよう、それぞれの事業に優先順位をつけ、区民に有益な施策を進められる体制を築け。また、庁内の縦割り化が進み、職員が疑問を抱いても声を上げない組織風土に陥っていることも大きな問題だ。直ちに改善せよ。予算委員会でも区長は東京大空襲の被害者への見舞金を検討すると答弁したが、戦争責任は国にある。区の予算を投じるのは筋違いだ。最後に我が会派が求めてきた火葬場建設の予算が編成されていないことに強い遺憾の意を表明する。





予算特別委員会の模様をホームページで録画配信しています。

世田谷区議会 議会中継 で検索!

令和7年度予算に対する

多くの声に耳を傾ける区政運営で
区民の暮らしを守り抜く

― 日本共産党世田谷区議団 ―

(後期高齢者会計には反対、その
他の会計には賛成する意見)



新年度予算案で示された福祉人材確保や保育施設経営への支援、補聴器購入費助成の対象者拡充など、区民意見を反映した取組を評価する。暮らしを守ることを主軸とした施策を一層推進せよ。災害対策は建物の耐震化や不燃化など減災の視点で取り組め。中小企業を地域経済の主役に据え、賃上げや雇用につながる抜本的な支援策を講じよ。再生可能エネルギーの導入を促進するなど、気候危機への対策を強化せよ。施設の使用料値上げは住民自治に不可欠な社会教育の推進を妨げるものだ。受益者負担の考え方を改めよ。

新年度に向けて以下提案する。
第1に暮らしの格差是正に向け住民税所得割非課税世帯まで各種支援を広げよ。第2に教育費無償化を一層進めよ。第3に介護人材確保のための恒久的な処遇改善に取り組め。第4に道路陥没などの防止に向けたインフラ点検強化と技術系職員の確保に努めよ。第5に高齢者の孤立を防ぐ居場所づくりを注げ。第6に全ての政策にジェンダーの視点を貫きハラスメント防止に有効な施策を展開せよ。

子育て世帯の負担軽減に尽力せよ
― 国民民主党・都民ファーストの会 ―

(全ての会計に賛成する意見)



都が2025年から第一子の保育料を無償化する一方で、一時預かり事業や病児保育などは有料のまま。不均衡な状況の是正を図れ。身近に頼れる人がいない子育て世帯が多い現状を踏まえ、ベビシッター利用支援事業の導入を実現せよ。子どもの体験格差の解消に向け、スポーツ施設などの子ども

料金を無料とせよ。共働きやひとり親家庭が増える今、専業主婦を前提とした制度を見直せ。子育て環境への不安から子どもを諦めることがないよう、若者や子育て家庭のニーズを施策に反映せよ。103万円の壁」の見直しによる減収については国からの財源補填がある前提を理解した上で議論を進めよ。旧態依然の社会保障制度により給付と負担に世代間格差が生じる現状に課題意識を持ち現役世代や子育て世帯の負担軽減に尽力せよ。

多様な視点で区政の発展を目指せ
― 生活者ネットワーク世田谷区議団 ―

(全ての会計に賛成する意見)



気候災害が頻発し、影響が激化する今、全庁を挙げた対策の一層の加速が必須だ。新たなプラスチック削減方針に基づく取組みを進め、発災時のこみ対策や学校改革に伴う暑熱対策を強化せよ。参加と協働の更なる進展に向け、気候市民会議で得た知見を広く共有し、活用せよ。公園整備や駅前再開発事業等においても、多様な地域住民を包摂せよ。ジェンダー主流化を実践すべく、ジェンダー統計を充実せよ。戦後80年の記念事業を成功させ、せたがや未来の平和館を平和の発信拠点とせよ。

区民に寄り添った支援に取り組め
― レインボー世田谷 ―

(全ての会計に賛成する意見)



区有財産を守るため、郷土資料館などの防災設備を強化せよ。障害者の日常生活用具に対する給付額を市場価格と見合うよう全面的に点検せよ。片目失明者の義眼購入費用を区独自に助成せよ。太平洋戦争の空襲被害者への見舞金は障害の有無にかかわらず支給せよ。

安全安心な世田谷のまちを築け
― 世田谷無所属 ―

(全ての会計に賛成する意見)



自転車による事故の増加を踏まえ、子どもが道路標識を学ぶ機会など交通安全対策を強化せよ。ベビシッターの利用支援事業を導入せよ。避難行動要支援者の安否確認体制の整備や区営住宅へのエレベーターの設置に尽力せよ。

自分事と捉えられる区政運営を
― 国際都市せたがや ―

(全ての会計に賛成する意見)



区民に環境問題を自分事と捉え行動してもらえよう、積極的な木材利用を通じて循環型社会について啓発せよ。都区財政調整制度における配分割合が56%へ増加するこの機に、都から区への権限移譲を含め、職員が今後の区政運営の在り方を学ぶ機会を設けよ。

予算編成過程の透明化を進めよ
― せたがやの風 ―

(全ての会計に賛成する意見)



予算は将来に向けた区のあり方そのものである。編成に当たり取り組むべき課題を明確にした上で、全庁を挙げて取り組む体制を築くべきだ。今までのやり方が正しいとは限らない。自ら変わる努力をすべき。若手職員の意見も取り入れ、よりよい区政へと前進せよ。

区民の利益と安全を確実に守れ
― 参政党 ―

(全ての会計に賛成する意見)



外国人との共生を図る上では国益と安全保障を守る視点を重視せよ。コロナワクチン接種開始後に死亡者が急増した原因を科学的に分析せよ。区内経済の活性化に向け、公契約は地元企業を優先せよ。

機密性の高い個人情報情報は安全性に優れた国産クラウドで管理せよ。
区民目線に立った施策を展開せよ
― 日本維新の会 ―

(全ての会計に賛成する意見)



「学習する都市」の推進に向けた事業の成果指標を明確化せよ。マンシヨン防災の意識醸成を図れ。産業活性化拠点で区内産業のイノベーションを創出せよ。公共施設のデザイン性を高めよ。地域猫に係る施策の予算を拡充するとともにボランティアの負担軽減を図れ。

子どもの健やかな成長を支えよ
― 無所属 ―

(全ての会計に賛成する意見)



子どもの健やかな成長には学校で安心して過ごせる環境が必要だ。教員の負担軽減策を推進し、子どもと向き合える時間を確保せよ。区民に質の高い行政サービスを提供できるよう、優秀な人材の確保に注力せよ。ふるさと納税対策として遺贈寄付を区民へ周知せよ。

「マチイロ」での配信を始めました



各自治体の広報紙をスマートフォン等で手軽に読むことができる無料アプリ「マチイロ」で「せたがや区議会だより」を配信しています。ぜひご活用ください。

【Android版】



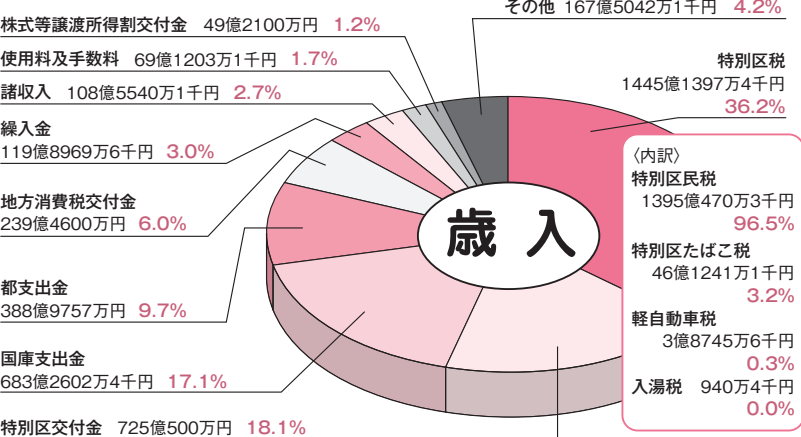
【iOS版】



令和7年度各会計予算

内 容		対前年度比増減率
一 般 会 計	3996億1711万7千円	7.6%
特別会計		
国民健康保険事業会計	822億5087万4千円	-3.7%
後期高齢者医療会計	266億3684万2千円	2.3%
介護保険事業会計	744億1672万7千円	1.9%
学校給食費会計	39億4663万9千円	11.7%
計	5868億6819万9千円	4.9%

一般会計予算の内訳（％＝構成比）



※構成比（％）は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

令和7年度 予算のあらまし

